



令和5年度の取り組み状況

<努力した点>

- ・ケガをしにくい体づくりのために、今年度より体育指導を始めた。
- ・食育活動の一つの配膳・下膳を自分で行えるようにしていった。幼児は、食べられる量を自分でとる活動(セルフ配膳)も再開することができた。
- ・行事の保護者の参加制限を緩和し、子どもたちの成長を間近で実感していただける機会を増やした。
- ・ICTシステムを導入することができ、登降園管理や出欠のお知らせなどをスムーズに行えるようになった。
- ・人権擁護の研修を全職員に行うことができた。
- ・物価高騰の中、給食食材の調達や使い方にも工夫をし、新メニューを取り入れることができた。
- ・周辺地域でコロナウィルスやインフルエンザが蔓延する中、手洗いや消毒など小まめな対策をとり、拡大を最小限に留めることができた。
- ・駐車場の拡張整備工事を行った。

<改善点・課題>

- ・安全計画、業務継続計画を策定した。職員への周知、共通理解を図り、安全で安心できる保育を行っていかれるようにしていく。
- ・職員の資質向上のため、外部研修への参加や園内研修を積極的に行い、保育に対する共通理解を深めていく。
- ・環境を通じて行う保育の評価が低かったなので、環境に対して再度考え見直す機会を作る。